

育G新聞

Vol.9
イクジイが日本を元気にする。
毎月1回連載

育G新聞編集部 編集協力：
NPO法人 ファザーリング・ジャパン
NPO法人 孫育て・ニッポン

育G インフォメーション

毎月第1金曜日
「楽しい子育て・孫育て講座」全2回

【日程】12月7日(金)
2013年予定 1月11日、2月1日、3月1日
4月5日、5月10日、6月7日
【時間】13時30分～15時00分
【参加費】1000円(一家族)
【場所】日本助産師会
【交通】JR総武線「浅草橋」駅から徒歩8分
都営地下鉄浅草線「蔵前」から徒歩5分
【対象】祖父母、ママ・パパ
【問合せ】日本助産師会 03-3866-3054
【申込み】www.midwife.or.jp/kouza/kosodate

子育て・孫育て連続講座
「地域でイキる」を考える

1月19日(土)「がんばりすぎない子育て・孫育て」
1月26日(土)「イクメン・イクジイのチカラ」
2月2日(土)「地域共生からどうする?
これからの子育て、教育、介護」
【場所】杉並区・細田工務店杉並リボン館
(1月19日、1月26日)
産業商工会館(2月2日)
【詳細】http://www2.city.suginami.tokyo.jp/guide/detail/9381/osirase_H24.pdf

★育G登見★

No.9

イクジイ オブ ザイヤー 2012 受賞
西川 きよしさん

今年から新設された

「イクジイ オブ ザイヤー」(後援:厚生労働省)の、
見事 第一回受賞者となった
タレント・元参議院議員の西川きよしさんには、
超多忙な毎日を乗り切る秘訣がある。

「この賞のお知らせをいただいたのが、妻のヘレンとの45回目の結婚記念日だったんです。妻がまず大喜びしてくれました。そして、イクバアには賞はないの?って。今まで、芸能活動や福祉活動を通してたくさんの賞をいただいてきましたが、「イクジイ」の受賞は本当に格別でしたね。この賞は孫にも意味がわかるんですから。家族全員で喜ばせてもらいました。」

大阪と東京を日常的に往復する超多忙な西川さん。お孫さんたちとはどんな関わりを?

「たとえば、疲れてしんどいなあと思って帰宅すると、5歳の孫2人が『おかえり』と飛びついてくるんです。その子たちを両脇にかかえると、これは栄養ドリンクを2本飲んだようなものですね。すぐに疲れが吹き飛びます。」

「ふだんは、大きな声で挨拶するとか、いただきものをしたらまずお仏壇に供えて、それから下げてきていただくとか、孫たちには伝えるようにしています。親世代とはちがった祖父母の役割があるんじゃないかな。『おかげ』という感謝の気持ちもこれから伝えたいことのひとつですね。」



イクジイとしてこれからしたいことは?
「もちろん孫との時間も大切にしたいですが、ずっと忙しい思いをさせてきた妻へお返ししていくことを考えないとなと思っています。これからは『育ヘレン』です。」

シニア世代といつても、みなさん本当に元気です。その元気をぜひお孫さんや子どもたちにも向けていただきたいですね。たとえば、エンジニアだった方が「ものづくりの夢」を持つ子どもたちに経験を伝えていくとか、いろいろできるんじゃないかなと思います。しかし、芸人の技を伝えるのは難しいですね。」と笑う西川さん。

時には、お孫さんと漫才のネタを披露したりすることもあるとのこと。お孫さんの話をするときには、トレードマークの大きな目がぐっとやさしくなるのが印象的だった。

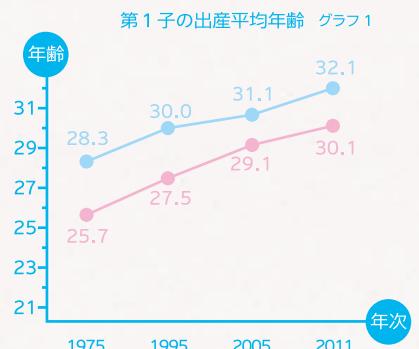
育G潮流

ジイジになれる日は、年々遅くなる

晩婚、晚産が進む現代、祖父母になる年齢にも、変化が起きているはずだ。現在、ジイジ、バアバになった年齢の調査データはない。そこで、政府が行っている人口動態調査の「出生順位別にみた父母の平均年齢の年次推移」から、推測してみた。

1975年第一子の出産平均年齢は、母25.7歳、父28.3歳であったが2011年には母の平均年齢が初めて30歳を超える30.1歳と4.4歳上昇、父も32.1歳と3.8歳上昇している。第1子の出産平均年齢が父母の平均で4.1歳が上がるということは、おそらく祖父母となる年齢も4歳前後上昇していると考えられる。

その原因はどこにあるのか。晩婚化も



その理由のひとつだと私は考える。人口動態調査の中に「年次別初婚平均婚姻年齢」というデータがある。データを探っていくと、1975年の初婚の平均年齢は夫27歳、妻24.7歳、2011年は夫30.7歳、妻29歳、夫3.7歳、妻4.3歳とこちらも上昇。そして、この上昇ポイントの平均をとってみると、なんと4歳という数字がはじき出される。

先日、大学生を持つ親御さんに「娘さんや息子さんが結婚する年齢は何歳を想定されていますか?」との質問に、

お子様の性別にかかわらず「30~35歳」という回答が8割を超えた。もしも、この会場に足を運んだ親たちの予想が当たると、出産年齢も上昇し、親世代が祖父母になる年齢も今以上に上昇するだろう。

子育て、孫育てには、体力も必要。子育て不安、少子高齢化の問題解決には、もしかしたら結婚年齢の見直しが必要なのかもしれない。ちなみに調査を開始した1908年の初婚の平均年齢は夫26.8歳、妻22.9歳と、今よりも平均で5歳若い。

(NPO法人孫育て・ニッポン 理事長 ぼうだ あきこ)

育G STYLING 「送って楽しい孫への年賀状」

「あぶり出し」で遊んだことのあるジイジは多いはず。その技を生かした年賀状づくりです。



- ① みかんの汁をしぼって
- ② 筆か指の先につけて、絵や文字をかく
- ③ よく乾かして、いざ、孫へ投函

★ 必ず、「あぶり出し年賀状」を送ったことをパパやママに伝え、孫といっしょに「あぶって」もらうように頼んでおきましょう。ジイジから届いた、何やらヒミツの年賀状に大喜びすること間違いなし！

育Gの極意

家族内コミュニケーションに年賀状を活用！

年賀状の販売が開始されると、今年も残りわずかと感じる人も少なくないだろう。娘や息子たちから来る年賀状は、毎年孫たちのかわいい写真がのっていて、何度も見てもらえない。でも、いざ娘や息子、孫への年賀状をと思って、何を書いたらいいのか筆が止まってしまう。

そこで、おすすめなのが来年の抱負を書くこと。例えば、「家族旅行に行こう！」「野菜を作ってみんなに送りたい」など、家族や孫と一緒に楽しみたいことを書いてみよう。家族内コミュニケーションがアップすること間違いなし。